

Well-being の日米差についての再検討

—自由選択の感覚，肯定的評価バイアス，社会環境の観点から—

中里直樹

(大分大学福祉健康科学部)

目的

西洋と比べて東洋の国の人々の Well-being は低いことが，一貫して報告されてきた (e.g., Deaton, 2008)。近年，その原因が自由選択の感覚の低さにあると示されている (e.g., Inglehart et al., 2008)。また，先行研究 (中里, 2017) では，自由選択の感覚の低さの要因として，人間関係の固定化 (Yuki, 2007) とそれによって形成される排除回避傾向 (Hashimoto & Yamagishi, 2013) があると報告されている。その一方で，Well-being の文化差に対する，肯定的評価バイアス (以降, PEB) の効果も報告されている (e.g., Kim et al., 2015)。これまでの研究では，Big Five パーソナリティの各特性に影響を及ぼす Halo 因子を PEB の反映として用いた検討が行われてきた (e.g., Kim et al., 2012)。

本研究では，PEB による効果を考慮してもなお，西洋 (米国) と比べて低い東洋 (日本) の人々の Well-being が，「人間関係の固定化→高い排除回避傾向→低い自由選択の感覚→低い Well-being」というプロセスで説明可能かについて検討を行う。

方法

<調査方法> 調査会社に委託し，Web 調査で日米の社会人，各 500 名からデータを収集した。

<質問項目> Well-being 及び自由選択の感覚の測定には，人生満足度尺度 (Diener et al., 1985) と中里他 (2014) の尺度を用いた。PEB 因子抽出のために，Big Five Inventory (John & Srivastava, 1999; 日本語版は逆翻訳して作成) に回答を求めた。社会環境における人間関係の固定化の測定には，Yuki et al. (2007) の関係流動性尺度のうち，関係固定性因子を用いた。排除回避傾向の測定には，Hashimoto & Yamagishi (2013) の尺度を使用した。

<分析手順> (1) 確認的因子分析を実施し，因子負荷の絶対値が低いもの (.30 未満)，日米差が大きいもの (.30 以上) を除外対象とした。その結果，Big Five 各特性における逆転項目は，除外された。(2) まず，全観測変数に影響を与える黙従傾向因子を設定した上で，各概念の潜在変数を抽出した。続いて，Big Five 各特性への因子負荷に等値制約を施した上で，PEB 因子を抽出した。(3) 回答並び

に評価バイアスを統制した上で「日本の高い関係固定性→日本人の高い排除回避傾向→低い自由選択の感覚→低い Well-being」の過程を検討した。

結果

最終モデルの適合度は許容範囲内であった (CFI = .90; RMSEA = .04; SRMR = .10; Figure 1)。PEB の日米差 ($d = -.72$, 99% CI [-.94, -.50]) は，人生満足度の日米差 ($d = -.51$, 99% CI [-.69, -.34]) を 24%説明した ($d = -.12$, 99% CI [-.25, -.002])。その一方で，PEB の効果を統制しても，自由選択の感覚の日米差 ($d = -.50$, 99% CI [-.67, -.33]) は人生満足度の日米差を 40.5%説明した ($d = -.21$, 99% CI [-.36, -.06])。また，自由選択の感覚は関係固定性と排除回避傾向で説明され，国変数から排除回避傾向への直接効果も加味すると，45.2%を関係固定性と排除回避傾向の日米差が説明した ($d = -.23$, 99% CI [-.34, -.11])。

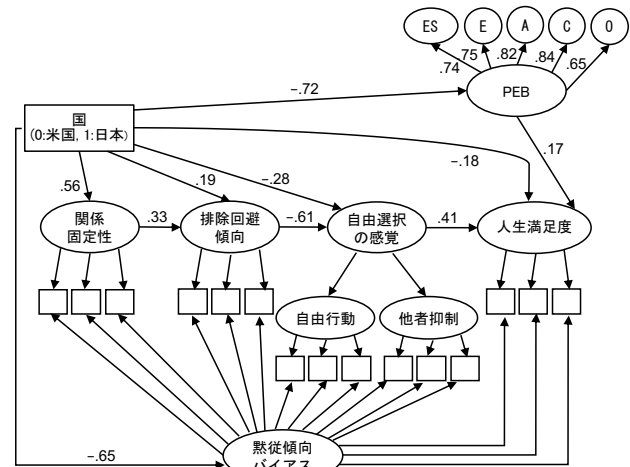


Fig.1 PEB を統制した上での Well-being の日米差説明モデル (注) ES, E, A, C, O は，情緒安定性，外向性，調和性，勤勉性，開放性を表す。値は全て 99% CI に基づき有意。

考察

PEB の効果を統制しても，自由選択の感覚の日米差は両国の人々の Well-being の高低を説明することが示された。また，「日本の高い関係固定性→日本人の高い排除回避傾向→低い自由選択の感覚→低い Well-being」というプロセス (中里, 2017) も再現された。結果から，Well-being の文化差は，洋の東西の人々の評価傾向・回答傾向の差異のみによって説明されるものではないと示唆された。